

笹原栄雄氏 勲四等に叙せられる

資 料 室

元地質調査所資料課長補佐（製図担当）笹原栄雄さんが 昭和53年春の叙勲で 勲四等瑞宝章を授与され 5月10日にその伝達式が 世界貿易センタービル内式場で行われました 翌11日午後 天皇陛下に拝謁のため皇居参入の前に 夫人同伴で東京分室に立寄り 所長をはじめ関係者に挨拶されました。

今回の授章に対し 笹原御夫妻に心からお祝い申し上げます。

氏は 大正5年2月 海軍水路部図誌科に入り 約8年間勤務の後 高松市役所技手として迎えられたが 製図技術に対する特殊才能を見込まれ 大正14年8月 商工省鉱山局地質調査所における地質図幅編纂のための精度の高い基本図の製図作業に従事するため 当所に入ってきた。

当時の7万5千分の1地質図幅作成のためには 不十分な資料を基礎として 新しく地形基図の作成から作業を行わなければならなかった時代でもあり その基図作成には 献身的な努力がなされたと思います。

大正から昭和の初期には主として 7万5千分の1地質図幅の基図作成にあたられており 太平洋戦争当時は南方資源開発調査業務のため 昭和19年2月 海軍技師に任命され マカッサル研究所において 熱帯地方の未開発地域の地形基図の作成に努力し 鉱物資源開発調査

のための支援グループとして大きな業績を残され この功績により昭和19年勲六等瑞宝章を叙勲されております。

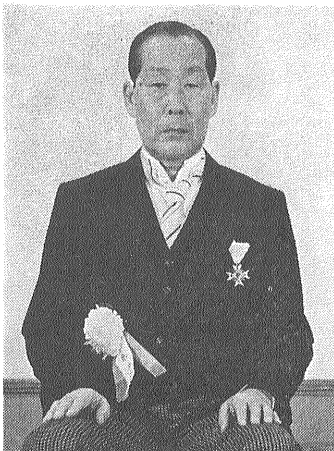
終戦後は 昭和23年測図課長補佐 そして資料課長補佐を経て 退任されるまで その卓越した知識と優れた技術ならびに豊かな包容力をもって 後進の指導と育成に献身するかたわら 製図部門の近代化に努められています。

特に 戦後の製図技術者の激減の事態にあたって 従来 7万5千分の1地質図幅基図作成の煩を廃し 国土地理院発行の5万分の1地形図を基図として使用し 現在の図幅作成作業体系の確立に努力した功績は 極めて大きいものがあります。

以上のような地質調査所発展のために 多大の業績を残された 笹原栄雄御夫妻は現在 御子さま お孫さんにかこまれて 平和な毎日を過されています。

最後になりましたが 今回の受賞に重ねてお祝い申し上げます。 御夫妻の今後の御健康をお祈り申し上げます。

現住所 ☎ 241 横浜市旭区左近山1997
左近山団地 2-4-405
☎ (045) 352-6065



笹原栄雄氏



勲 記